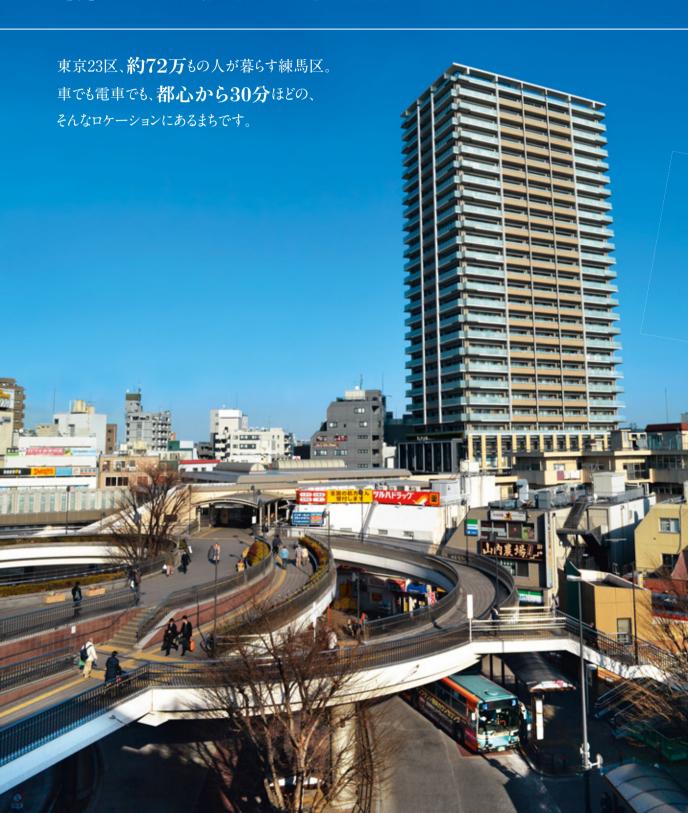


練馬から始まる 新しい"農"の物語











一方で、そう、見まわしてほしいのです。
 そして気づいてほしいのです。
 たくさんの家やマンションに囲まれた中で、
 ダイコンやキャベツ、イチゴにブルーベリー。
多種多様な野菜や果物たちが、顔をのぞかせていることに。





練馬区には、多くの農地が残されています。

東京23区の中で最も多く、23区にある農地の約4割が練馬区にあります。

都市において「農地」を残すことは、簡単ではありません。 都市農業ならではの難しさを抱えながら、 人々の理解と協力のもと、農地が受け継がれてきました。

今では、環境保全、防災、教育、福祉など、さまざまな面で 農地が良い循環を生み出し、多くの人の共感を呼んでいます。





そして何よりも、練馬の農業は、

大都市にありながらも、豊富な生産力を誇るとともに、 都市における生活の質をより豊かにする農のあり方を、 常に発信しつづけています。

まさに"生きた農業"なのです。

"生きた農業"の周囲には、

そのことに価値を感じる人たちが集まっています。

そうした価値観を持った人たちがサポーターとなって、 新たなコミュニティが畑から生まれています。

農が人々のよりどころとなっているのです。

都市の生活と農業、都市の住民と農業、

これらが融合して、一体となっているまちの姿は、たいへん貴重なものです。

都市農業の新たな形として、世界に誇れるものです。



練馬に吹く新しい風を

これからの"農"と"都市"のあり方を、あなたに伝えたいのです。



ねりま・ふうど

Nerima food

愛情たっぷり 練馬で育った農産物













※ 果実的野菜であるイチゴは果物として掲載しています。







住宅地に広がる緑の畑 練馬を代表する野菜

キャベツは練馬区の農業を代表する野菜です。区内の畑における作付け面積のトップを占めており、都内ナンバーワンの生産量となっています。昭和初期まで練馬は大根の産地として有名でしたが、戦後はキャベツが生産の中心となりました。住宅街の中に広がるキャベツ畑は、練馬の大切な財産です。

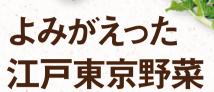


ねり丸キャベツ

安全・安心で新鮮、食味も抜群! JA東京あおば野菜流通協議会が、都内ナンバーワンの産地で育ったキャベツを「ねり丸キャベツ」としてブランド化しました。

キャベツを作って40年以上になります。学校給食にも使われているんですよ。きちんと手入れをしないと良いものが採れないので、妥協せず、キャベツの身になって育てるようにしています。





練馬大根

江戸の食文化の象徴 伝えつづけられる練馬大根

練馬大根の栽培は江戸時代に始まったと言われています。元禄期(1688~1704年)の頃から江戸の人口が増えたことを背景に、大根の生産も増加しました。江戸から近い練馬は、野菜の供給地として大変重要であったと言えます。

明治から大正にかけて生産のピークを迎えた 練馬大根ですが、昭和に入ると干ばつや病気の まん延によって生産量が減少し、戦後の洋食 化、農地の減少などによってほとんど栽培され なくなってしまいました。

そのような練馬大根を復活させようと平成元年に始まったのが、練馬大根育成事業です。この事業により、平成28年度には約14,100本の練馬大根が生産されました。練馬大根を守り継いでいくため、練馬区では、栽培の促進やイベント、食育等を通して魅力の発信に努めています。



練馬大根の採種場

種子販売により、練馬大根は全国的に有名になりました。



干し大根

伝統的な「たち編み」で干されている練馬大根。水分が少なく、皮は薄く、色は白く、乾きやすい特性を持ち、干し大根に適しています。





トマト畑

年間を通した購買需要に応えるため、ハウスでの栽培が増えてきています。



養液栽培

土を使わず、肥料を水 に溶かした培養液で 作物を栽培する方法 です。 会社員時代、都市農地の保全に関心を持ったことから、結婚を機に自ら就農しました。人がやっていないことをやりたかったので、養液栽培でトマトを育てています。応援してくれる人や仲間の存在がありがたいですね。



生産者 山口 卓 さん



ブロッコリー

ブロッコリーはキャベツに次ぐ練馬の 代表的な野菜です。栄養価がとても高 く、調理も簡単です。最もおいしい旬の 時期は11月から1月頃です。





鮮度が非常に重要なエダマメ。「ねりマメ」は、鮮度を維持できるよう工夫して出荷しているエダマメブランドです。都会で農業ができるのも住民の方の理解があってこそ。自分で収穫した新鮮な野菜を食べることで、農業のことをもっと知ってほしいですね。

エダマメ

未成熟な青い大豆を収穫したものがエダマメです。栄養価が高く、食べるのも簡単なことなどから、海外でも人気が出てきています。収穫後すぐに冷やすことで、甘味が強く、香り高いエダマメを出荷できます。



生産者 田中 聖晃さん



P20 ^

ジャガイモ

ジャガイモは1600年頃、日本へ 伝わってきました。明治後期に積 極的に栽培されるようになりました。練馬区では、ふれあい農園で ジャガイモ掘りを体験できます。



ダイコン

弥生時代に伝わった大根は、煮る、蒸す、炒める、 生食と調理の幅も広く、日本人の食卓に欠かせな い野菜のひとつです。青首大根は辛味が少なく、 生食にも向いています。寒さが厳しくなる12月頃 になると甘味が増してきます。



{food × 風土}

果物

Fruits

栄養満点の 輝く果物 味わうふうど



ルーベリー。ポリフェノールの一種で あるアントシアニンが豊富です。練馬 区にはブルーベリー観光農園があり、 摘み取りを楽しめます。

PI4

ブドウは手のかかる果物ですが、手をか けた分だけ愛着がわくので楽しいです。ブ ドウの房には作り手の個性が出るんです よ。一人で2,000房を目標に作っています。 8月下旬の2日間で完売してしまいます。

ブドウ

栄養が豊富で、ヨーロッパでは「畑の ミルク」と呼ばれているブドウ。練馬 区ではさまざまな品種を栽培していま すが、市場にはほとんど出回らず、農 家の直売所などで販売されます。

生産者 加藤 惠則さん



ウメは古くから日本人に親しまれ てきた果実で、梅干しや梅酒、 ジャム、梅酢など、いろいろな用 途で使われています。



カキは計算を必要とする果物で、翌年の 実のことまで考えて手入れをする必要が あります。難しいですが、そこがカキのお もしろいところです。東京のブランド柿を 普及させ、もっと多くの人においしさを 知ってもらいたいですね。



荘埜 銀一さん(右) 生産者 **晃一**さん(左)

力キ

「柿が赤くなれば、医者が青くなる」と言われるほど、栄養価が高いカキ。生食や干し柿として長年愛されています。練馬区では、毎年秋に柿狩りを楽しめる農園があるほか、果樹を活用した体験学習事業を実施しています。



クリ

クリご飯や甘露煮、マロンペーストなど、洋の東西を問わず、クリはさまざまな調理法が考案されてきた果物で、9月から10月に旬を迎えます。

会社勤めの後、親の畑を継いで就農しました。養液土耕栽培法で章姫と紅ほっペを栽培しています。花から収穫までの期間が長いほど、甘くおいしいイチゴになるんです。I粒の価値の高いイチゴを手間ひまかけて育てています。

生産者 加藤 博久さん

イチゴ

日本で本格的にイチゴが栽培されるようになったのは明治時代からです。イチゴに含まれるビタミンCは、果実の中ではトップクラス。練馬区でも、丹精こめて生産されたイチゴが直売されています。

トチオトメを中心に120坪で3,200株ほど 栽培しています。植え付けの時は孫も交 えて一家総出。とってもデリケートなの で、細心の注意を払いながら育てていま す。うちのイチゴは小学校の給食に出る こともあるんですよ。

生産者

加藤 和雄さん 喜代子さん

ご夫妻

農園リストは **P43** へ



{food **X** 風土}

花

Flowers

人々を魅了し 街を彩る花 魅せるふうど

シクラメン

冬季の贈答花として人気のある シクラメンは、日本で最も生産さ れている鉢植えのひとつです。 練馬区でも盛んに生産されてお り、その生産量は都内2位となっ ています。

練馬育ちのシクラメンは暑い夏を越 えて花を咲かせるため、丈夫で寿命 が長いと好評なんです。地方に負け ないよう、時代の流れやお客さんの 好みに合わせて、商品も変化させて いきたいですね。



生産者 田中 誠蔵さん

サッキ

「練馬模様木」で一世を風靡した練馬 のサツキ。旧暦の皐月(5月)に花が咲 くことから「サツキ」と命名されました。

サツキの生産は昭和39年から始めたの でもう50年以上になりますね。最近は、 社会科の時間に学校へ農業の話をしに 行ったり、子どもたちの見学を受け入れ たりしています。手入れで年中忙しいです が、きれいに花が咲くとうれしいです。



生産者 加藤 清太郎さん



農を練馬風に





楽しむ。



農作業をしたことがない人も、ベテランさんも

自分に合った 体験を 農とのふれあい



自分で育てる 楽しみ 農にチャレンジ





"カジュアル"に農とふれあう

果樹あるファーム

都心から気軽に行ける 多様な果樹の摘み取り園

区内で生産されているブルーベリーやカキ、 ブドウなどの果樹を直接摘み取ったり、直売所 で購入できる農園が「果樹あるファーム」です。

"カジュアル"は、肩肘張らないスタイルを示す 言葉であり、果樹あるファームでは、身近で気軽 に農の魅力とふれあうことができます。また、農 業者にとっては新しい視点で農業経営を展開 できる側面も持っています。

練馬区では、果樹の摘み取りを通した農との 気軽なふれあいを推進しています。



お手軽、新鮮がうれしい ブルーベリー観光農園

練馬区ブルーベリー観光農園は平成19年度に開園しました。当初8園だった農園は年々増加し、平成28年度には31園がオープンしました。観光農園数都内1位となっています。

ブルーベリーは品種によって旬が異なるので、シーズン中に複数回楽しむことができ、毎年夏休みに訪れるのを楽しみにしている子どもたちもいます。



夏休みの自由研究のテーマとして、練馬区のブルーベリーを調べています。毎年、夏休みに来るのを楽しみにしています!





高松四丁目宮本園 **宮本 正裕**さん 10年前、会社を退職して就農しました。当時は野菜づくりが中心でしたが、新しくブルーベリーに挑戦し、今では8種170本を育てています。種類によって甘さや味わいが異なります。楽しみながら練馬のブルーベリーを味わって

A·加藤農園 加藤 昭夫 さん

開園して11年目になりますが、今でも 試行錯誤しながらがんばっています。 手入れの仕方や土などで、同じ種類で も味や熟す時期が変わるんですよ。お 客さんに[ここのはおいしい]と言って もらえるのがやりがいですね。



甘く熟した ブルーベリー

ブルーベリーについている 白い粉はブルーム(果粉)と 呼ばれるものです。新鮮で 完熟した果物ほどたくさん 付いており、おいしさの目 安になります。



体験中の親子

ブルーベリー摘みはとても簡単! 小さな子どもも楽しむことができる農体験です。たくさん採れたら、冷凍して保存しておくこともできます。

農園リストは **P43**へ

自分に合った体験を 農とのふれあい

歩いて発見! 身近な畑 野菜ウォークラリー

平成2年度から始まった野菜ウォークラリーは、身近な地域の都市農業にふれながら、新鮮な野菜を収穫することができるので、毎年人気の高いイベントとなっています。参加者はいくつかの畑を回りながら、生産者から野菜の育て方や収穫方法の説明を聞き、実際に野菜を収穫します。収穫した野菜は持ち帰ることができます。









説明を聞く参加者

真剣な表情で説明を聞く参加者。生産者と交流することで、農への理解も深まります。

内堀農園 内堀 雅巳さん

子どもたちが土とふれあう機会の役に 立てるのが野菜ウォークラリーの良い ところですね。ただ農業をしているだけ ではできない地域貢献だと思います。



牛から学ぶ農と命の大切さ 酪農体験

酪農体験事業は牛とのふれあいを通して、 牧場や酪農業への理解を深めてもらうため、 平成17年度から開催しています。会場は23区 唯一の牧場である小泉牧場。約2,000㎡の敷 地で45頭ほどの乳牛を飼育しています。小泉 牧場は「酪農教育ファーム」の認証を受けており、「食」や「命」の教育の場として、都市部における酪農の価値を伝えています。



小泉牧場の牛乳でつくった アイスミルク





牧場と牛のお話

牧場で使用する道具や牛の生態、牛乳 についての説明を聞きます。



仔牛とのふれあい

生後2~3か月の仔牛とのふれあいや、エサやりを体験できます。

大根の収穫に挑戦してみよう 練馬大根収穫体験

平成日年度から始まった練馬大根収穫体験は、練馬大根を身近に感じてもらうことを目的に行われています。引き抜くときのコツや、一度は衰退した練馬大根が復活するまでの話などを聞きながら、楽しく収穫体験をすることができます。収穫した大根は持ち帰ることができます。

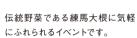




渡戸農園 渡戸 秀行さん

市場にほとんど出回らない練馬大根ですが、自分で収穫して自分で食べるという機会を提供できて、生産者としてうれしいです。練馬大根普及のきっかけになるといいですね。

*** * ***









さくにゅう 搾乳体験

乳しぼりを体験できます。手でミルクを 受け取ると、ミルクの温かさを実感で きます。



小泉牧場 3代目牧場主 **小泉 勝**さん

地域の理解あってこその小泉牧場です。子どもたちには、手で乳しぼりを体験してもらっています。そのぬくもりを感じてもらい、ミルクは生きているんだ、命の証なんだということを感じてほしいです。農や食、そして命の大切さを、牛たちから学んでもらえたらと思っています。



引っこ抜きで熱くなれ! 練馬大根引っこ抜き競技大会

中太で長いため、引き抜きづらい練馬大根。 その特徴を活かした一大イベントが、平成19 年度から始まった「練馬大根引っこ抜き競技 大会」です。JA東京あおばとの共催で、収穫 時期の12月頃に開催しています。毎年全国か ら多くの参加者が集まり、制限時間内に抜い た本数を競う「選手権の部」と、抜いた大根の 長さを競う「グループ参加の部」を実施してい ます。

参加者は競技として楽しみながら、練馬大 根の魅力にふれることができます。競技後は、 抜いた大根を持ち帰ることができるほか、JA 女性部によるすずしろ汁もふるまわれます。ま た、この大会で収穫した大根は、翌日から区立 全小中学校の給食に使用され、食育や地産地 消の促進にも貢献しています。





練馬大根をはじめとした練馬産 の野菜がふんだんに使われてい るすずしろ汁も食べられます。





JA東京あおばのキャラクター GODAI君とすず夏ちゃんもねり丸 と一緒に大会を盛り上げます。

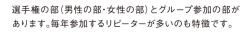






第10回大会農園主 神田 耕さん

住宅街に農地があると、近隣の方に何 かとご迷惑をおかけすることもあるの ですが、農業を体験したことがある人 は畑への理解があるんですよ。引っこ 抜き競技大会を通してわかってくれる 人が増えたら良いなと思いますね。



自分に合った体験を 農とのふれあい

土と生産者にふれあえる ふれあい農園

平成9年度から始まったふれあい農園は、練馬区内の生産者が栽培した農作物を参加者が収穫することのできる農業体験イベントです。収穫できる野菜はジャガイモやサツマイモのほか、ニンジン、ダイコン、ネギなど。家族で楽しく参加することができます。





「大きいのが採れた!」と歓声を上げながらイモ掘りを楽しむ 子どもたち。





ジャガイモ掘りを楽しんでいる子ども を見て、大人も一緒に楽しめるのが良 いところだと思います。自分で採った 野菜なら、たくさんあっても子どもはき ちんと食べるんですよ。楽しみながら 農業にふれてほしいですね。

加藤農園 加藤 茂平さん

永井農園 永井 昭さん

訪れる子どもたちに喜んでもらえるよう、動物の形の看板やイスを作り、園内に置いてあります。これからの農業は、お客さんとふれあいながらにぎやかにやっていく必要があるんじゃないかな。





果樹を活用した 体験学習事業

平成24年度から始まった果樹を活用した体験学習事業では、参加者が柿の栽培や収穫などの農作業を学習・体験できます。グループで I 本の木を担当し、剪定や摘果など、5回程度の講座を受けながら、果樹の育成を体験することができます。収穫した果実は持ち帰ることができます。









自分の畑でイチから育てる 区民農園・市民農園

都会に住みながら、野菜づくりや収穫を楽しめる場が区民農園・市民農園です。

区民農園・市民農園とは、農家から借りた 農地を区が整備し、区民の方に貸し出す制 度です。自宅の近所で気軽に野菜や花の栽 培を楽しめることから、大変人気があります。

農園内の共用農具庫にはクワ、スコップ、バケツ、じょうろ等の農具が用意されており、自由にご利用いただけます。

長年、中学校教員として生徒たち と農作物を作っていました。家庭 菜園の安全・安心な面に惹かれ て、現在は有機栽培、完全無農薬 の野菜づくりを楽しんでいます。

> 区民農園利用者 **筒口 典康**さん

区民農園・市民農園の利用案内

【区民農園・市民農園共通】

利用期間:原則として1年11か月

利用資格:次の2点のすべてにあてはまる方

- (1)練馬区に住所を有する方(世帯を単位とします)、または過半数が練馬区に住所を有する方で構成されている団体
- (2)区が定める規則を守って農園を利用することができる方

【区民農園の概要】

農 園 数:18農園 総区画数:1,426区画 1区画面積:約15㎡ 使用料:400円/1か月

主な設備:水道、共用農具庫、トイレ・ベンチ(一部農園には

なし)、掲示板

【市民農園の概要】

農 園 数:5農園 総区画数:246区画

1区画面積:約30㎡(車いす利用者優先区画約20㎡)

使 用 料:1,600円/1か月(車いす利用者優先区画1,100円

/1か月)

主な設備:水道、クラブハウス(トイレ、休憩室、更衣室、調理

設備)、農具庫(共用と個人用)、掲示板



自分で育てる楽しみ

農にチャレンジ



プロから伝授! 農業のワザ 農業体験農園

平成8年度から始まった農業体験農園は練馬区発祥の畑の学校です。農業のプロである農家が開設し、耕作の指導を行っています。利用者は農園主の指導のもと、種まきや苗の植付けから収穫まで、一連の農作業を体験することができます。農園主の丁寧な指導を受けながら野菜の栽培ができるので、初めて農業にチャレンジする人でも安心して野菜づくりを楽しむことができます。

農作物を栽培し売るだけでもなく、農地を 貸すだけでもない、農作業の知識を提供する という農業体験農園は全国に知れ渡ってお り、農業の新しい形として注目を浴びています。

また、農業体験農園は都市農業への理解を深めるだけでなく、農園主や利用者間の交流の輪も広げ、コミュニティづくりの場にもなっています。



農園主による指導は週末を中心に複数 回開催されるので、都合の良いタイミン グで指導を受けることができます。



農業体験農園の利用案内

【概要】

1区画面積:約30㎡

利 用 期 間:3月中旬から翌年1月末

利用料金:38,000円(入園料・収穫物代金)

練馬区に住民票がない方は50,000円

主な設備:柵、簡易トイレ、水道、休憩施設、農具庫、看板、

揭示板

利用対象: 20歳以上の方(家族での参加も可)







南大泉やさい村園主

山口 幸治さん

平成20年度に開園し、10年目になります。うちの園では、1年間で約33品目を育ててもらっています。家族で参加されている方も多く、子どもの野菜嫌いがなおったなどとよく聞きます。食育の場としても役立っているようです。



緑と農の体験塾園主

加藤 義松さん(左)

平成8年度に、区内第1号の農業体験農園としてオープンしました。 153区画あり、おかげさまで全て埋まっています。住宅地に囲まれた農地ですから、近所の皆さんが気軽に畑に足を踏み入れるきっかけになればと思っています。

加藤 義貴さん(右)

大学で土壌学を学び、昨年までJA 東京あおばで農業指導に携わって いました。これからは、父と一緒に、 とれたて野菜の本当のおいしさを 知ってもらうお手伝いをできればと 思っています。

農園リストは **P42** へ

福州引息生活:

おいしい野菜がたくさん! ねりマルシェの魅力

ねりマルシェは、新鮮でおいしい練馬産農産物やその加工品などを区内の農業者と商業者が直接販売するものです。来訪者は、生産者から農産物等の説明を受けながら、安心して購入できます。

その日に収穫した種類豊富な野菜や色鮮やかな花などが並び、どなたでも気軽に立ち寄り、楽しんでいただけます。

普段目にすることが少ない江戸東京野菜も 手に入れることができます。また、商業者により、 練馬産農産物を使ったジャムやケーキなどの 加工品やワイン・ビールなども販売され、その場 で味わうことができます。



自分たちが育てた野菜や花、果物を生産者が直接、販売しています。足りなくなったら畑まで取りに行く…、それぐらい新鮮です。作り手の顔が見えることがこのマルシェの魅力だと思います。

ワイナリー

平成28年度 ねりマルシェ実行委員会 **内堀 正之**さん

沙園で



休日の食べ歩きにも!

都内初のワイナリーで作られたワインやブルーベリー発泡酒、 練馬産の野菜がふんだんに使われた餃子やお弁当・お総菜な ど、その場でいただくことのできる飲食物も多く扱っています。





農家さんパンド! 歌ってマルツェゼ 盛り上げます /

まだまだあります 練馬のマルシェ

練馬区では農業者と商業者主催のマルシェもたくさん開催されています。

女性の農業者や商業者で開催したり、平日の夕方から夜にかけて開催したりとそれぞれ工夫を凝らした、さまざまなコンセプトのマルシェが開催され、地域の方との交流が進んでいます。

マルシェはさらに広がっています。地域への 愛着を深めるため、西武鉄道が主催して石神 井公園駅でマルシェを開催しています。

農業者と消費者の交流が活発になり、都市での暮らしがより豊かになるよう、練馬区は農業者等が主催するマルシェを支援しています。

類点なりま高松マルシェ

女子マルシェは女性が主体となって開催するマルシェで、男性はサポートに回ってもらっています。農家の女性が外に出て活躍する場をつくることができてうれしいです。



チーム ねりま de 女子マルシェ **白石 俊子**さん

練馬には生産者と消費者を結びつける場がありませんでした。第1回目は知り合いだけのこぢんまりとしたマルシェだったんですが、回を重ねるごとにぎわってきてうれしいですね。今後はプロジェクターなども活用しながら、売買だけで終わらないマル

シェをつくっていきたいです。

ネリマ de マルシェの会 加藤 博久さん(左) 野坂 亮太さん(右)

公園で





直影所 哈拉

詳しくは ガイドブックを チェック! /

Shell hall

新鮮な野菜がずらり! 自宅前直売所

練馬区には、新鮮な農産物を身近で手に入れることのできる場所がたくさんあります。

自宅前直売所では、生産者自らが販売しており、訪れる方は生産者と交流しながら、採れたての農産物を購入することができます。顔の見える売買は食の安心につながり、農作物やその調理方法に関する理解も深まります。消費者との距離が近い都市農業ならではのメリットだと言えます。

おいしくて安心な農作物に会いに、区内の直 売所を訪ねてみてください。









コインロッカー式の直売所を設置している生産者もいます。のぞくのが楽しみになりますね!

JA東京あおば 農業祭

毎年11月に開催されます。練馬大根をはじめとした農産物や特産品などが販売されるほか、ステージショーも行われ、多くの人でにぎわいます。





朝採り農産物がならびます! JA 東京あおばの共同直売所

JA東京あおばの共同直売所では、地域の生産者が納入した採れたての農産物を販売しています。安くて新鮮な食品を気軽に購入できると好評で、午前中に売り切れてしまうこともあります。





こぐれ村

住 所:練馬区大泉学園町2-12-17

電話:03-3925-3113 営業時間:10:00~17:00

休 業 日:水曜日

主な販売品目:野菜・花・植木・園芸資材・米 他

練馬地区アグリセンター

住 所:練馬区春日町1-17-34

電話:03-3999-7851 営業時間:9:00~16:30

休 業 日: 土曜日·日曜日·祝日

主な販売品目:野菜・米・園芸資材 他





とれたで村 石神井

住 所:練馬区石神井町5-11-7

電 話: 03-3995-3132 営業時間: 9:00~16:30

休 業 日:祝日

主な販売品目:野菜・果物・漬物・花・米 他

総合園芸センターふれあいの里

住 所:練馬区桜台3-35-18

電 話: 03-3991-8711 営業時間: 10:00~17:00

休 業 日:火曜日

主な販売品目:野菜・花・植木・園芸資材・米 他



練馬育ちの おいしい逸品

練馬で育った農産物を使用 した特産品の数々。素材の良 さを生かした自慢の味です。







Make the Wind Blow

風卷題乙ず日

- 未来につなげる"農"の取り組み -



都市農業を支える「ねりま農サポーター」の育成

農の学校は、農業者を支える「ねりま農サポーター」を育成するため、平成27年度に始まった新たな取り組みです。区内農業者の講師による実技講習、座学講習、農家実習等により、支え手として活動するための技術や知識を学びます。修了した受講生を「ねりま農サポーター」として認定し、支え手を必要とする区内農業者とつなげていきます。

また、農の学校では、家族で野菜の作付けから収穫までを体験し、農とふれあう楽しさを 学ぶ「農とのふれあい・体験コース」も開講しています。

農の学校は、支え手の育成に加え、区民による都市農業の魅力の発信を目指しています。





初級コースを修了すると、「ねりま農サポー ター」に認定されます。修了生は、次のコースに

進むことで更に技術を深めることができます。



初級コース



農とのふれあい・体験コース



農の学校 特別企画

中級コース

江戸東京野菜の 栽培講座

江戸やその近郊で栽培され ていた、練馬大根など、江戸 東京野菜の歴史を学ぶ特 別企画も開催しています。



マッチング

農業者とねりま農サポーターをつなぐ援農のマッチン グ。現在多くの農サポーターが支え手を必要とする農 業者のもとで活躍しています。ほかにも区のさまざま な農業イベントに協力しています。

農の風景育成地区制度

農地は農産物を生産するだけでなく、人々が安らげる風景を 今に伝え、災害時の避難場所になるなど、地域において多様な 機能を果たしています。そこで練馬区では、減少する農地を 守っていくため、東京都の「農の風景育成地区制度」の活用を 進めています。この制度を活用し、農地や屋敷林などが残る地 域を指定することで、農業の継続が困難となった場合にも、区 が「農の風景を生かした公園」として守っていくことができます。



Make the Wind Blow



農を通して伝える食の大切さ

食育は、食に関する知識や食を選択する力 を習得することで、健全な食生活や健康につな げる取り組みです。食の源である農が身近にあ る練馬区の子どもたちは、練馬流の"食育"で食 の大切さを学んでいます。

区立小中学校では、区内産の野菜を使用し た食育も行われています。例えば、練馬大根 引っこ抜き競技大会で抜いた練馬大根は、次 の日から区立全小中学校の給食に使われてい ます。ほかにも、枝付きのままのエダマメを自分 の手でさやとりするなど、子どもたちは給食の時 間にも多くのことを学んでいます。

リサイクル肥料

給食から出た野菜くずなどを発酵処理することでできる肥料「練馬の大 地」。調理時の野菜の皮や食べ残しを処分するのではなく、肥料へと生ま れ変わらせ、農作物の育成に再利用するという循環型社会の実現を目指 しています。







栄養士による練馬大根の説明。 自分が食べているものへの理 解・関心が深まります。

小学校での取り組み

子どもたちの食と農への関心を高めるため、小学校では区内の農業者の協力を得てさまざまな体験学習に取り組んでいます。

学校の周りの農業者への取材・調査を行う 学習や、伝統的な製法による練馬大根のたく あん漬け体験などを通じて、子どもたちは食と 農の学びを深めています。







区立小学校の社会科等 の授業では、練馬大根の 食農教育推進教材が使 用されています。

「まるごと練馬大根~見る·知る·学ぶわたしたちの伝統野菜~」

大泉橋戸公園水田事業

大泉橋戸公園内にある「橋戸田んぼ」。地域の団体「橋戸水田自主管理会」の協力のもと、平成24年度から近隣の小学生たちが、田植えや稲刈りなどの米作り体験を行っています。







橋戸水田自主管理会 会長 **篠崎 利光**さん

東京都内でも、田んぽがあればカエルや バッタがやってきます。田んぽの中で楽しん でいる子どもたちを見るのが長年の夢だっ たので、笑顔で作業してもらえてとてもうれ しいです。 Make the Wind Blow

農地保全推進自治体

都市農地を守るための連携

都市農地は、近年、宅地化の進展や相続 時の税負担、後継者不足などにより減少して います。

都市において重要な役割を担っている農地 を守るため、練馬区の呼びかけで平成20年度 に設置されたのが「都市農地保全推進自治体 協議会」です。農地のある都内の38自治体が会 員となっており、都市農地の保全に関わる制度 改正などについて国への要望活動を行ってい ます。また、協議会では、住民の都市農業や農 地についての理解を深めることを目的に「都市 農地保全自治体フォーラム」を開催しています。

都市の宝である農地を次世代に伝えていく ため、さまざまな立場の人が連携しています。





(都)(市)(農)

世界から注目される練馬の都市農業

大都市東京に立地し、住宅地の随所で産 業として農業が営まれている練馬区は、世界 的に見ても珍しい都市です。練馬の農業の魅 力を世界に発信し、都市農業の発展に寄与す るため、平成31年度に世界都市農業サミット を開催します。

世界都市農業サミットでは、参加各都市が都 市農業の意義と魅力を共有し、相互に学び、新 たな取り組みを探ること、それにより都市農業の 発展につなげていくことを目指しています。



国連大学の視察から



一歩進んだ取り組みも展開されています

多様な機能を持つ貴重な都市農地

pick up

農地での防災訓練

農業体験農園では、農園の野菜を使った炊き出し訓練などを通じ、地域住民に災害時に地域で助け合う関係の重要性や畑で野菜を確保できることを知ってもらう取り組みが行われています。防災意識を高める取り組みが地域ごとに行われており、農地が身近なものとなっています。



pick up

地産地消の新い展開

練馬産農産物を使った料理があるレストランや、加工品の販売が増えてきています。また、農産物の栽培、加工、販売までを行う6次産業化についても、意欲ある農業者の取り組みが増えています。





pick up

福祉機能

精神に障害のある方の社会適応訓練や、ひきこもりなどの若者の職業体験が、農業者の協力のもと農地で行われています。都市農業の福祉的機能として期待されています。また、土地所有者から借りた農地等を、区が老人クラブ農園として整備し、周辺の老人クラブに無料で提供することで、会員同士の親睦と健康づくりに役立っています。

もっと前へ!

日々の暮らしと融合している練馬の農業は、農の新しいあり方と言えるでしょう。 都市と農の新しい関係が練馬から始まっているのです。





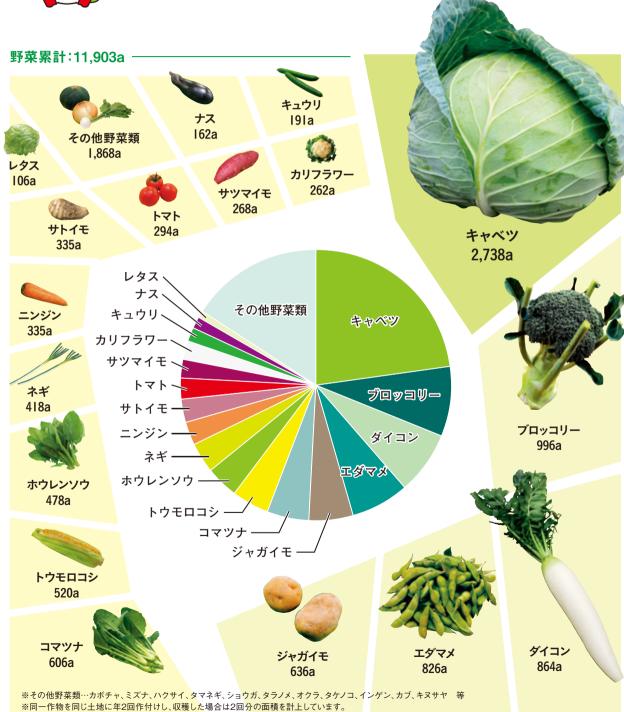
区内農産物生産面積



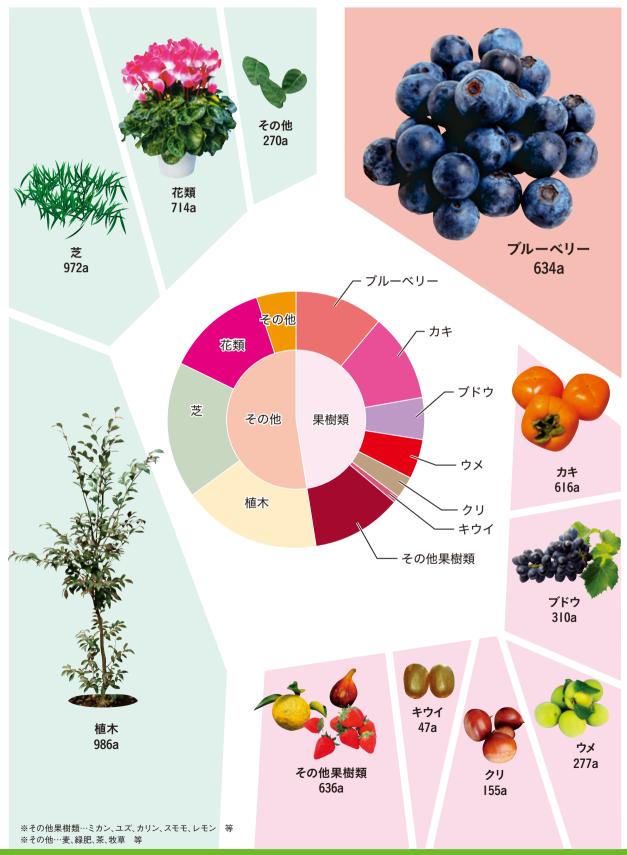


データ☆ダイジェスト

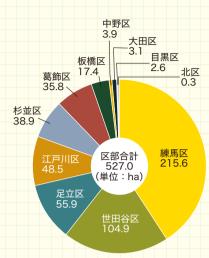
練馬でつくられている野菜や果実に植木など 練馬の農業を数字で紹介します。



果樹累計:2,675a

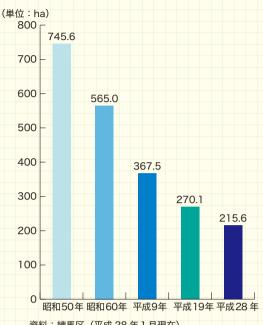


東京区部の農地面積



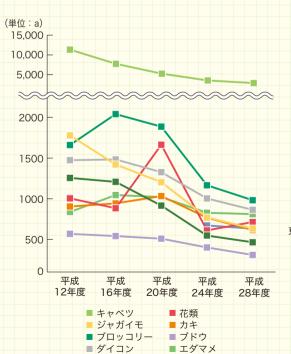
資料:東京都主税局(平成28年1月現在)

区内農地面積の推移



資料:練馬区(平成28年1月現在)

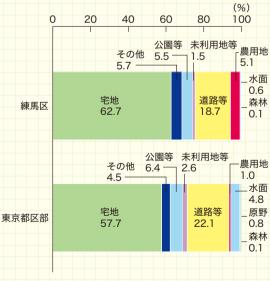
区内主要農作物 作付け面積の推移



■ブルーベリー

■ ホウレンソウ 資料:練馬区「農業経営実態調査」

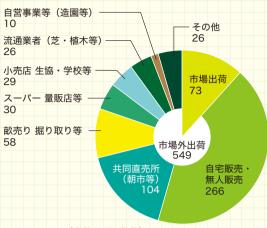
区内の土地利用比率



資料:東京都「東京の土地利用 平成23年東京都区部」

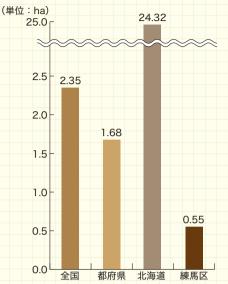
区内農作物販売形態

● 農家 1 戸当たりの耕地面積



(単位:延べ件数)

資料:練馬区「平成28年度農業経営実態調査」



資料:農林水産省「平成28年農業構造動態調査」 「2015年農林業センサス」

※販売農家を比較対象としています。

区内農家の生産種類別 延ベ戸数

区内農家戸数/ 農業従事者数の推移



(単位:戸)

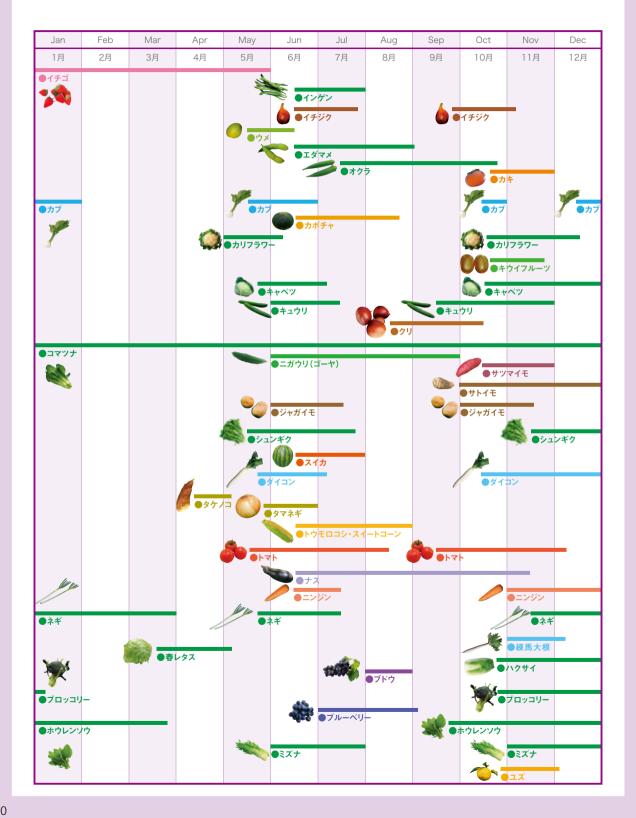
資料:練馬区「平成 28 年度農業経営実態調査」



資料:練馬区「農業経営実態調査」



ねりまの味わいカレンダー





// □ ☆イベントー覧

Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		募集)		月下旬 格農体験	PI6					
			募	集 ●· ▶		月下旬 野菜ウォー	クラリー	PI6			
				•	5月下旬 アトリウム		PI2				
			募	集●:▶	•		可~7月上 ⁴ 小も掘り	P20		P2	0
							募集	••>	•	10月下旬 さつまい	
		~11月下旬		P20						募集	••>
•	未倒を活	用した体験	字省争耒								
F	是28	慢とのふれあ	い・体験=	コース募集	••>					験コース 募 のコース募	
	いれあい・位	本験コース●						辰りか	一ヶ一月以	,V)コーヘ _ラ	₹ *
農サホ	・ーター育の	成のコース									
	— 2月 ₋ 練馬	上旬 『大根のたく	【あん漬け】	販売			● 8月. 練馬	上旬 大根種子	配布		
										● 新	1月下旬 東馬大村 又穫体駅
								PI8	募集●•▶		● 2月上 ⁴
										Ā	引っこ抜
						结甲	±####	■. 徳田士	11月5	中旬 ——	引っこ抜
						練馬	大根の販売		根料理の打 11月ロ	中旬 全工	引っこ抜
						練馬	大根の販売 P26		根料理の打 11月 あおば農 ま	中旬	東馬大利司の正統競技大会
区内:	各地で農業	業者主催の	マルシェ゛	P25		練馬		JA東京	根料理の打 11月ロ	中旬 中旬 中旬 中旬 平	引っこ抜競技大領
	各地で農業	養者主催の	マルシェ゛	P25	ブ			JA東京	限料理の打 11月5 あおば農 11月上旬	中旬 中旬 中旬 中旬 平	計っこ抜競技大会

^{*}募集はねりま区報や区ホームページで随時お知らせします。また、実施時期は変動する場合がありますので詳しくはお問合わせください。

農業体験 農園

緑と農の体験塾	南大泉3-17	A-3
大泉 風のがっこう	大泉町1-54	B-1
田柄すずしろ農園	田柄1-29	D-2
イガさんの畑	土支田1-35	C-2
学田体験農園	中村南1-4	D-4
農学校「石泉愛らんど」	石神井台6-5	B-3
農業体験農園「緑の散歩道」	大泉学園町3-4	B-2
農業体験農園「どろんこ・わぁるど」	西大泉2-25	A-2
農業体験農園「井頭体験農園」	東大泉7-27	A-3
農業体験農園「百匁の里」	大泉学園町3-17	A-2
農業体験農園「楽農くらぶ」	三原台3-27	B-2
農業体験農園「南大泉やさい村」	南大泉4-39	A-3
農業体験農園「農の詩」	石神井町5-15	B-4
農業体験農園「旬感倶楽部」	南大泉1-6	A-4
あーばん あぐりぱーく 石神井台	石神井台8-2	A-4
関町グリーンガーデン	関町北3-20	A-5
農業体験農園「百匁の里第二」	大泉学園町3-12	A-2

区民農園

羽沢三丁目区民農園	羽沢3-37/区画数:48	E-3
中村南一丁目区民農園	中村南1-2/区画数:90	D-4
春日町二丁目区民農園	春日町2-31/区画数:38	D-2
田柄一丁目区民農園	田柄1-16/区画数:235	D-2
田柄二丁目区民農園	田柄2-38/区画数:45	D-1
高松一丁目区民農園	高松1-35/区画数:30	C-3
高松三丁目区民農園	高松3-11/区画数:38	C-3
高野台三丁目区民農園	高野台3-28/区画数:59	C-3
石神井町六丁目区民農園	石神井町6-32/区画数:16	B-3
上石神井二丁目区民農園	上石神井2-15·16/区画数:133	B-4
上石神井三丁目区民農園	上石神井3-2/区画数:50	B-4
上石神井南町区民農園	上石神井南町10/区画数:40	B-5
関町南三丁目区民農園	関町南3-4·7/区画数:119	A-5
関町南三丁目第二区民農園	関町南3-30/区画数:82	A-5
大泉学園町一丁目区民農園	大泉学園町1-33/区画数:38	B-2
大泉学園町四丁目区民農園	大泉学園町4-26/区画数:146	B-1
南大泉やまぶし区民農園	南大泉5-8、西大泉1-11/区画数:50	A-3
西大泉二丁目区民農園		A-2

市民農園

旭町市民農園	旭町1-12-12/区画数:44	C-2
谷原東市民農園	谷原1-21-27/区画数:56	C-3
谷原西市民農園	谷原6-1-22/区画数:49	C-2
南大泉市民農園	南大泉4-30-7/区画数:48	A-3
西大泉市民農園	西大泉4-3-8/区画数:49	A-2

ブルーベリー 観光農園

内堀農園1・2	西大泉4-21	A-2
高橋ブルーベリーガーデン	西大泉2-12	A-2
永井農園ブルーベリーの里	南大泉6-20	A-2
小美濃園	南大泉5-39-7	A-3
高橋ベリーガーデン1・2	南大泉2-33【ベリーガーデン1】	A-3
	南大泉3-25【ベリーガーデン2】	A-3
南大泉加藤農園	南大泉3-15-3	A-3
ベリーワールド・かとう(加藤果樹園)	大泉学園町5-21	A-1
ファーム大泉学園	大泉学園町3-17-72	A-2
ベリーズ工房小さな果樹園	大泉学園町2-31-8	A-2
加藤ファミリー農園	東大泉6-34-31	A-3
A·加藤農園	大泉学園町1-19-3	B-2
カトちゃんブルーベリーファーム	大泉町2-58-13	B-2
さかい農園	東大泉2-15	B-2
芹沢農園	大泉町2-12-4	B-2
白石農園	大泉町1-52	B-1
村田農園	大泉町1-47	B-1
関ロブルーベリー農園	東大泉6-13-19	A-3
井口農園	南大泉1-6-19	A-4
渡邉園芸	東大泉7-6-3	A-3
さくら菜果園	関町北5-2-26	A-4
尾崎農園	石神井台5-11-25	A-4
ベリーファームさくらい	関町北4-30	A-4
はまなか農園	関町北3-20-5	A-5
ブルーベリーフィールズ本橋農園	石神井台4-14地内	B-4
山下農園	石神井町6-32-16	B-3
やまはち農園	土支田4-45-10	C-1
みやもとファーム	高松1-39-5	C-3
おざわ農園	高松5-1	C-3
高松四丁目宮本園	高松4-21	C-3
浅見農園	桜台3-7-12【桜台の畑】	E-3
1.4.7.0 0 000	羽沢2-25-9【羽沢の畑】	E-3

※ブルーベリー観光農園は開園 日時が園によって違います

摘み取りが できる果樹園 (カキ・イチゴ)

加藤柿園(カキ)	大泉学園町5-20	A-2
荘埜園(カキ)	大泉町1-50	B-1
加藤農園(イチゴ)	三原台3-7	B-3







ねりま の 農業

Agriculture in Nerima

企画・発行: 練馬区 都市農業担当部 都市農業課

〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1

TEL 03-3993-1111(代表) URL http://www.city.nerima.tokyo.jp/

発行年月: 平成29(2017)年4月

制作:(株)ジャパンインターナショナル総合研究所